



小田急線下北沢駅東口。飲み屋やアメカジ衣料品店などがバラックのような小店舗で営業していた一角と小田急線の地下化で線路と踏切がなくなり、新しい駅舎と広場ができた



再開発が進んでいるが、それは駅周辺エリア。一歩小径に入ればこだわりの個人商店が元気に営業中だ



世界レベルのアングラ感と日本ならではの安心感 再開発で変貌中の下北沢

世界中で発行されているカルチャー情報誌、タイムアウトが行った全世界対象の大規模な都市調査『Time Out Index 2019』をもとに発表した『The 50 coolest neighborhoods in the world』と題したランキングで下北沢は第2位に選出された。下北沢が評価された理由として同書ではこう記している。

「下北沢はニューヨークにとつてのブルックリンのようなものだが、唯一異なるのはもっとイカしていること。渋谷や新宿など都心の近隣地区と比べて

商業開発が進んでいない下北沢は、流行に敏感な雰囲気や、アンダーグラウンドな格好良さを持つカウンターカルチャーの伝統、そして若者たちからの信頼であふれている。この地区を有名



古くから続く商店街挙げてのイベントは、大人から子供まで、誰もが安心して楽しめる工夫と努力が活かされる

にしている古着屋や委託販売の店に混じり、趣のある独立経営のレストランやカフェ、バーもたくさん見つかるだろう。かわいらしく飾り立てた原宿に対するアンチテーゼであるグランジスタイルの追求が大好きな、ファッション好きにとっては格好の場所だ。東京の中心部から遠く離れてしまったように感じるかもしれない

続きは月刊アミューズメントジャパン
2月号をご覧ください



A／本多劇場は、下北沢が演劇の街と呼ばれるシンボリックな劇場
B／下北沢で営業する約10店の古着店が出店した下北沢古着マーケット。各店をまわらなくともその店の個性が垣間見え、気に入れば近くで営業する店舗で掘り出し物を探す C／子供たちが遊ぶ小さな公園になった商店街の空き地

